

部門	受賞者	評価のポイント
女性の活躍推進部門	スタイルクリエイティブ株式会社 (企業、福岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性に輝き続ける人生を」を理念に掲げ、さまざまなライフイベントを迎える女性たちが、各々のスタイルに最適な働き方を実現できるよう保育・教育事業を実施している。 ・具体的には、利用する保護者に合わせて柔軟に利用できる保育プランの展開や福岡では珍しい託児付きのワーキングスペースを開設している。 ・また、休眠保育士等が、非常勤保育士として、常勤保育士の急な休み等への対応を行う「スーパーフリー保育士制度」を導入し、既存社員の働く環境の整備及びブランクのある保育士の復帰促進に寄与している。
	株式会社ハピクロ (企業、北九州市)	<ul style="list-style-type: none"> ・認可小規模保育事業所の運営にあたって、保育業界の働き方改革を積極的に推進している。 ・具体的には、独自で開発したIoTシステム等を活用し、保育士の負担を軽減し、作業効率を向上させる取組や、オフィスワークに集中できる時間を設け、職員の時間外勤務を削減する取組を実施している。 ・また、面談等を通して、各職員に合った柔軟な勤務ができるよう調整し、希望休100%を実現している。 ・上記のとおり、保育業界では珍しく、デジタル(IoT)とアナログの双方を効果的に活用し、子育て中の職員が大半を占める中でも、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。
困難な状況にある	社会福祉法人グリーンコープ (団体、福岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が抱えているニーズに合わせて、不安や悩みを傾聴する相談支援や家事・育児のサポートを組み立て、訪問型の子育て支援を行っている。 ・また、当団体が一般社団法人グリーンコープ共同体に属し、同グループ内の他団体との連携が可能であるという強みを生かし、他団体で行ってきた生活困窮者支援に係るノウハウやネットワークを活用して、県や市町村の女性を含めた自立相談支援等を長年実施している。 ・令和3年度においては約2,700件の面談を行い、経済的な課題、子育て、DV等の相談に対し、約2,600の支援プランを立て、約1,130の課題を改善した。 ・困難な状況にある女性が相談する場や支援が必要とされる中、団体単体だけでなく、同グループ内の他団体と連携した支援を行うことにより、より質の高い支援を幅広く提供している。
女性の先駆的活動部門	九州大学医学部 第三内科同門会 女性医師の会「すずらんの会」 (団体、福岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年に結成され、その後一旦活動を中断していたが、産休・育休後の職場復帰が難しく、子育て世代の女性医師の就労率の低下が問題となる中、平成29年より活動を再開。以後、仕事と家庭の両立に難渋する女性医師への支援を行う会として活動。 ・具体的には、各分野で活躍するロールモデルとなる女性医師の講演やディスカッションを通じて、次代を担う女性医師の育成や見識を広める場を提供している。 ・また、他分野・各世代の女性医師との交流を通じ、情報交換やキャリアの維持に役立っている。 ・一般に就業率が低下する30-39歳の子育て世代相当の就業継続率が令和3年度は前年度から大幅に上昇しており、子育て世代のキャリア継続支援につながっている。
	長野 路代 (個人、飯塚市)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を行いながら、農産物加工品の製造業に従事し、女性の経済的自立を自ら実践しながら、日本の食の伝統を伝えている。 ・具体的には、農家に嫁いだ後、農業収入が妻である女性に全く入ってこないことに疑問をもち、60歳の時に農産加工品を製造する「野々実会」を立ち上げた。 ・「野々実会」で製造された加工品は数々の賞を受賞している。 ・食のアドバイザーとしてレストランのメニュー開発にも携わり、小学校でそばの種まきから収穫、そば打ち体験等を実施するなど、後世へ食の伝承を行っている。
	藤谷 明美 (個人、宗像市)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏ではなく、ベッドタウンにおいて、IT関連業務の受注を行う会社を立ち上げ、地域在住の子育て中の女性が都市部に通勤しなくても就業できる環境を整備した。 ・具体的には、会社においてチームを編成し、急な休みの時も仕事に影響を与えずに、安心して育児・介護ができる環境を整備している。 ・キャリアカウンセリングなど個人のキャリアアップにつながる仕組み等を構築し、単に就業機会を与えるだけでなく、人材育成にも取り組んでいる。